

## 市民との意見交換会会議録（白沢中学校区）

報告日及び報告者 H28. 2. 19 三瓶幹夫、菅野健治

1. 日時 平成 28 年 1 月 27 日（水）午後 6 時 30 分～午後 8 時 30 分
2. 場所 白沢公民館 2 階研修室
3. 出席議員 渡辺由紀雄、渡辺忠夫、渡辺善元  
根本七太、菅野健治、三瓶幹夫、石橋今朝夫（7 名）
4. 出席市民 18 名
5. 会議経過

### 【午後 6 時 30 分開会】

- ◇ 議員 開会宣言
- ◇ 渡辺忠夫議員 挨拶

市民との意見交換会は、昨年 6 月に制定した本宮市議会基本条例に基づいて、市民との連携を推進して市政の課題に柔軟に対処し、市民参加の機会及び市民の意見を市政に反映させる機会確保の為に、議会活動の状況を地域に出向いて市民に対し、報告・説明をし、更に議会活動や市政に対する意見などをお聞きしながら、市民との意見交換会を開催しました。今までは各小学校区単位で行ってきましたが、今回は中学校区単位で開催しました。

時期としては寒い時期ではありますが、3 月定例議会前という事もあり、適切な時期でないかと思えます。今日は、旧白沢地区選出議員全員が出席しています。只今から意見交換会を始めさせていただきますので忌憚のないご意見をお願いします。

（その後、出席議員が各自氏名、所属委員会を紹介、引き続き事務局の自己紹介で報告に入る）

### 【報告】

- ◇ 渡辺善元議員

別紙、資料、第 3 回本宮市議会市民との意見交換会（会場で配布）により、議会だより第 37 号から説明に入る。

4 ページを説明 12 月定例会の概要説明 諮問 1 件条例制定など 18 議案 報告 3 件 請願は 1 件採択、陳情は 1 件不採択となっている。

12 ページを説明 下段の 12 月定例会 賛否一覧を説明。

21 ページを説明 11 月臨時会の概要を説明 補正予算 賛否一覧を説明する。

議会だより 38 号

6 ページを説明 3 月定例会 35 議案 報告 1 件 人事案も出されました

11 ページを説明 前回開催の第 2 回意見交換会の要望が掲載されている。要望は市長部局に伝えるもの、議会にて対応するものが上段下段で分かれている。

12 ページを説明 3 月定例会議の討論、反対討論・賛成討論がそれぞれ掲載されてい

る。

13 ページを説明 賛否一覧もあわせて参照願います。

議会だより 39号

2 ページを説明 6月定例会 諮問2件 議案13案 報告3件

10 ページを説明 討論内容が掲載、修正提案の動議があった。

11 ページを説明 賛否一覧もあわせて参照願います。

12 ページの説明 請願1件採択、陳情1件不採択となっている。

13 ページの説明 会派の政務活動費の状況を掲載、使途について現在本宮市議会においては、みらい創和会、新風会、共産党会派と3つの会派がある。

19 ページの説明 第3回臨時会があり本宮二中グランド拡張委託料があった、第4回5月臨時会 白沢中学校体育館耐震補強改修工事の契約締結の議案、補正予算もあった。

議会だより第40号

8月臨時会 昨年7月に議会の改選があり、条例の一部改正、補正予算と合わせて正副議長の選挙、常任委員会、議会運営委員会、議会広報特別委員会等各委員の選任選挙があった。各常任委員会の委員構成については記載のとおりである。

議会だより第41号

6 ページを説明 9月定例会の説明 条例制定・補正予算29議案 報告3件 決算認定

9月定例会は前年度の各会計の決算認定を行う事から、決算審査特別委員会を設置し3日間の集中審議を行った

10 ページを説明 討論の内容が掲載、賛成討論・反対討論があった

11 ページを説明 下段が賛否一覧なので参照願いたい。

12 ページを説明 陳情一覧表 陳情2号は採択、陳情3号も採択となった。

13 ページを説明 政務活動費、昨年に改選があった為4月から7月まで4か月の政務活動費内容である。会派ではみらい創和会、新風会、日本共産党、個人的には橋本議員、後藤議員、渡辺秀雄議員、国分勝広議員が政務活動費を申請している。また、改選後の構成はメンバーが変わったのでご覧いただきたい。

《質疑 要旨》

問（市民）

説明を頂いたがあまりにも早くて分からないが、1つだけお聞きしたい。ちまたで聞いた話ではあるが、駅前・駅に関係する改善・改修の事で分からないのだが、かなりの予算が必要だと聞いている。積み立ての3億円しか目には入らないのだが、全体で30億円以上かかると聞いている。予算措置など将来の事を考えているのか。もう一つ、市として予算はあるのか。議会では分かると思うが一般の市民はほとんど分からない。議会議員は住民の代表であるので市民が分からないのがおかしい。例えば1円からというわけではないが1億円以上になったら住民の方に知らせて欲しい。知るための資料が欲しい。

答（渡辺由紀雄議長）

これは東西自由通路、駅西口再開発、駅新築がセットになっている。概算で総工費28億円を見積もっている。その中で40%が国の補助金が充当される。旧まちづくり交付金で充当する。そして26年度の決算で剰余金が出たため3億円を積み立てている。その他は借金であるが、年平均で7千万円で20年間の返済計画である。市の財政は決して良いわけではないが、駅が古いこと、そして住民より東と西が分断されている、踏切も狭い。東西自由通路の設置は旧本宮町時代から要望されていた。町でも財政問題が厳しくなかなか手が付けられなかったが、市になりまた市民の話を聞くと東西自由通路は必要だということで自由通路を作るならば駅舎も一緒にやりましょう。50年100年の大計でもあることからみんなに親しまれ愛される立派なものを作るため計画をしている。現在は、検討委員会が設置され市民による応募を頂き、市からも選定され委員会が開催されている。これは黙っていた訳ではなく、前から広報もとみやでお知らせしている。決して秘密にしていたわけではありません。我々東部市民には必要はあまりないと思われる。西側の市民が必要でありまして今議会でも特別委員会を設置して検討しております。これからの本宮市の発展を目指す場合は、西口の開発は必要だろうということで西口が出来ることによって西側に住宅が広がっていく。人口減少も抑えなくてはならないということで、市の財政健全化をにらみながらきちっとしたものを作ってもらいたい。もちろん議会には反対意見もあるが、やむを得ないという事で進めている。詳細設計については、これから詰めますが、防災無線でもお知らせしておりました広く市民の意見を聞いてパブリックコメントを2週間に渡って実施して締め切りました。8人の方に意見を出して頂きました。もちろん反対意見もありましたけども概ね賛成という事でした。

問（市民）

少子化問題についてお聞きします。全国的な人口減少見られる中、特に児童・生徒の減少が本宮市にとっても頭の痛い問題であり、課題と思われまます。特に私が住んでいる和田小学校においては全児童が100名を切っている状況が数年続いております。児童数減少は密度の濃い授業が受けられるとか児童の絆が深まるとか利点もありますが、団体活動に支障をきたし、競争心が失われる欠点の方がはるかに多いと思ひます。地域の問題として少子化問題を放置しておけば近い将来糠沢小学校や白岩小学校も例外ではなくなると思ひます。安倍内閣の内閣府特命大臣であった森雅子大臣は少子化対策の第一は結婚することだ。結婚は個人の問題だから国が斡旋することは出来ないが未婚の男女の9割は結婚願望があり、行政は希望を叶えてあげる責任があると言ひています。若者の男女の9割は結婚願望があるわけです。今後、議会として市当局に未婚者の結婚問題特に未婚男子の婚姻率を上げる方策とか経済的な問題として工場を誘致するとか住宅対策とか市当局に働きかけを行うのか。

答（渡辺善元議員）

只今頂きました質問は、次に行われます意見交換の分野と思ひます。報告に対する質疑がなければ、意見交換会に移らせて頂きます。

答（根本七太議員）

報告の方が早く終わりましたので1時間25分頂きましたので、いい形の中で意見交換会をして頂きたい。今日、ご存じかと思われませんが、リニア新幹線の品川駅の起工式が行われた。品川駅の地下40mに駅舎が出来、40分で名古屋に行ってしまう。そして地下が85%なのでほとんど地上に出ない工法である。世の中がこれほど大きく変わっており、遅れをとってはいけないという事である。意見交換会で貴重な意見を頂きながら我々は執行者ではないので、やりますと言う訳にはいきませんが忌憚のないご意見を頂きたい。2つのテーマが挙げられています。定住人口の増加についてとこれからの地域活性化についてであります。その他の件でも質問を頂ければと思います。それでは早速意見交換会の中身について国が地方創生の一環と定住人口増加もその一環の45年後の2060年には本宮市の人口も2万2千人になるのではないかという資料がある。いかにして3万2千人の人口をキープしていくかをどのようにしていくか活発な意見をお聞きしたい。先ほど来、学校の子供も達が少なくなるというお話がありました。現在の和田小学校の児童が少ないというお話このままで良いのか。議会でも私は特に和田出身なので時よりこの問題を取り上げ市執行部に質している。当然、対策としては人口増対策の中で今回和田小学校近くに復興住宅が出来ました。市としては人口増対策の一つで復興住宅を20戸建てましたが、復興住宅は浪江町民が住むという条件があるので子供達がいらない方・お年寄りの方が多い。ここ2・3年では効果は出てこないのではないかと思うし今後の検討すべき課題と思っている。

答（渡辺忠夫議員）

議会としてどうすべきかこの人口問題について、具体的に一つになって取り組むところまではいっていないのではないかと考えている。各常任委員会で婚活とか、結婚をどうしたら良いとか。子供が増えているところとか。研修で学んで来ているが全体としてどうなっているのかまで至っていないと考えている。ただ、本宮市全体の太い柱として定住人口の増加になって進んでいるので全体として進んでいると思うが、具体的にどのようにしていくのか。今進められているのは分譲地に対する補助金、区画に対して何万円、住宅取得に対し何万円という補助があるが、こういう事をすれば等具体的な提案があれば皆さんからご意見を頂きたい。個人的には子育てしやすい環境をつくるにはどのようにしたらよいか、隣に大玉村がある。人口が増えている村として西郷村と共にテレビで報道されている。他行政に比べ、大玉村は子育てしやすい環境が評価され、大幅増ではないが減らないという報道がされている。実際本市からは、十分に大玉同等にやっている発言もある。また本宮に住んでみたい広報にも出ている。一つの大きな柱として住んでみたいもとみや、市税も上がっているがすぐには結びつくのかという事もある。こういう事があれば意見を出して頂きたい。

問（市民）

今の定住人口増加それに関する対策については良いのだが、まず基本的にどうやって人口を増やすかが第一関門である。定住人口住宅補助あげますというのは、隣から人を連

れてくる人の取り合いである。日本全体の人口が増えるわけではない。高齢・年老いた男女（未婚者）がたくさんいることも、行政では分かると思うが、40歳を超えるとなかなか女性にお付き合いしませんかとは声をかけることが出来ないのではないかと、その辺を行政が課を作り、おせっかい課とか仲人課をつくる。合コンを企画するとか。女性に縁がなくなってくるので結びつける課を行政の中に作って頂きたい。

何でも先にやるという事が大事である。人口が減れば税収が上がらない。行政も大変になる。生物含めて子孫を残す事が大事である。そのうえでの教育、学力のウエイトばかりではなく、結局、命の教育とか、道徳教育が少なく頭でっかちになっている。そういう教育の部分さらにはある程度教育をしながら育てて適齢期に結婚しない独身税を課する。一人では生きていけないみんなに世話になっては生きていけない社会が成り立たないある程度年齢を区切って独身税いくつになれば何千円課税とかと思っている。結婚しないものをどうするかという会議で、マスコミ（テレビ）を使い婚活も良いのではないかと結婚してもらうことに力を入れることが重要である。子育て支援、住宅支援は当然であるが、結婚をしてもらうことが一番のポイントである。あとは行政・議員の皆さん、50年100年後の事も大切なので、備えは惜しまないでやる。きちんと建ててもらいたい3億5億と削って中途半端にやるんだったらやらない。未来のある施設をきちんと作ってもらいたい。

答（根本七太議員）

おせっかい課の創設、独身税（仮称）などとか一つの起爆剤がなければならぬ中で大変貴重な意見頂きありがとうございます。参考までに私2点申し上げます。全国の中でも結婚問題（婚活）を行政でしっかりと取り組んでいるところがあり、山形県鶴岡市・山形県庄内町が進んでいる。一昨年に行って来ましたが、スタートはしたが結果が出ていない。帰ってきて市に報告し産業商工に報告したら、昨年の部長研修で鶴岡市を訪問されました。婚活・未婚者対策を行政もやらなくてはならない。どのような方法があるか等研修されました。今後、28年度予算の中で前向きに検討されるものと思います。私が常任委員会就任して間もなく総務文教常任委員会研修がありました。定住人口をどうするか福岡県古賀市に視察研修して来ました。合コンをした後のフォローがしっかりしている。そこから先、まず両方の話を聞く。どうだったかその後希望があれば間に入った人が両方に繋いでくれて個別にお話しする。デートをする。それをやって15組結婚し成果が出ている。先程の質問に答えるのなら、市が鶴岡市に研修をしたのが前進である。28年度の予算が審議されるその中でどういう形で出てくるのか期待をしている。

問（市民）

FMモットコムが毎日放送している。隣の二本松が40名ほど集めて今月末に男女20名ずつお見合いパーティーをやる。先にやらないと、すぐに大玉が人口増えている。本宮の放送局が二本松のパーティーを放送する。二本松・大玉が増えるという事は白沢地区の若い娘さんを隣の市とか村に行ってしまう可能性がある。取り組むのは難しい問題ではないと思う。議員が、半年かけてご相談しましょうとかでは、どんどん後手を踏むので、ラジオ福島、福島テレビとかおおげさでなくともFMモットコムを利用し、会費は男子3千円、女子2千円で募集している。申し込みが多い場合であり、抽選で開催することを放送して

いる。簡単に出来るはずなので難しく考えずに即座に動いて頂きたい。年齢的に男女ともに年を取れば子どもを産む育てる環境は難しいので若い世代の出会いの場を早急に見付けてあげてほしい。

答（根本七太議員）

貴重な意見を頂きました。考えて悩んでいないで早く行動を起こすということが大事であることを教えて頂きました。

問（市民）

議題になっている言葉で理解できない部分がある。意見交換会①定住人口の使い方。なぜ「定住」という言葉を使っているのか。普通一般的には少子化という言葉が多い。ところが定住という裏側には、何があるのか。

答（渡辺由紀雄議長）

定住というのは、人口増加と定住人口増加と2種類ある。人口増加というのは、子どもを一人でも多く産んで人口を増やすという事。定住というのは、とにかく本宮に住んで頂くという事。本宮に定住して頂くそこで仕事をし、子ども産み育てて頂くことである。

問（市民）

定住という事は、家族ごとに引っ越し住民になってほしいという事だと思います。県では全体の人口、160万人を予想している。約25年後に何もしなければ減少していくのです。20万人減少する。その時、婚活したから結婚して子どもを産んだではなくて、ここが住み良いからだとか住んで多分いいだろう。年頭の挨拶で市長がいう、「安全・安心の住んでよかった」ところなのです。結局、何のために人口を増やしたいかというところと先ほど、大玉で人口がひとりでに増えているのではない。日本一の福祉社会を目指すという事です。ゆりかごから墓場までそれだけ福祉社会になっている。議会でもこの問題を出されたのか分かりませんが、そういうところから考えてみてはいかがか？駅の周辺環境整備も大事だが、福祉社会を重点的に整備して頂きたい。

答（渡辺由紀雄議長）

全く、そのとおりであります。地方創生で国では地方創生大臣を任命しておりますが、地方創生の究極の目的は人口減少を食い止める事であります。昨年11月に議長に就任し、東京で全国市議会議長会がありました。来賓で石破大臣が挨拶の中で日本は人口が減少しているこのペースでいくと300年後には日本の人口は1千人になる。だから何とんでも食い止めなければならない。とにかく市に帰ったら議会は市の監視機構ではなく、監視も大事だが、とにかくどんどん提言・提案する議会となってくれ、行政と一緒にやってくれと強い口調で石破大臣から話がありました。定住人口増加は、結婚だけでなく、住む場所があること、働く場所があること、子育ての環境が整っていること、この3つが全部マッチしないと本宮に住みたいという人が出てこない。例えば、住む場所では宅地造成業者、住宅取得者に補助金を出している、働く場所は、本宮の工業団地は残念な

がら本宮 IC 周辺は流通関係の業者が多いので地元採用の人間はいらない。市の方に製造関係の企業を誘致してくれと言っている。根本議員は和田地区に製造関係の会社を誘致してくれと要請している。もっとつくりたくないといけないと思っている。子育てでは、保育料の補助、減免をしている。決して本宮市、悪い条件ではないと思っている、福祉が栄えれば住む人は増えるが、やはり福祉を手厚くするということはものすごくお金がかかる。未来永劫にわたってやらなくてはならない。これは財政的な面もある。やはり受益者負担というとおかしいがそれぞれの方に負担して頂く。北欧は消費税が25～30%かかり、そうして税金を集めて福祉をしている。日本は大変なことになってしまう。福祉をどこまでやればよいか大変な難しい問題である。そういった中日本全国それこそ地方創生競争になっている。いかにして本宮が一步抜け出すかが大きな課題であり今日もテーマにさせて頂いた。我々も考えますが、市民の皆様も、アイデアをどんどん出して頂きたいと思います。おせっかい課（仮称）もいいですが、おせっかいをする人が今少なくなっている。おせっかいをする人に補助金・手当を出す制定・条例もありだと思ふ。おせっかいをしないから無関心になってきている。地域活性化・地域のあり方も含めて、もっともっと皆おせっかいして頂きたいそういう条例を作ったら良いかと思っている。

答（根本七太議員）

議長から詳細説明がありました、その他ありますか？

問（市民）

婚活、おせっかいの話がありましたが、異論というか、糠沢の八幡に住んでいて東笹田工業団地に勤務している女性が多くいると思う。郡山から勤務している方も多い。婚活の企画があれば、地元の企業に未婚の方に出会いの場を紹介して頂きたい。地元の方と結婚できるような働きかけをして頂きたい。

答（根本七太議員）

東笹田工業団地立地企業には女性職場が多く、300人の従業員はいると思う。企業と情報交換しながら何人が出会いの場を作れるのか、しっかりと取り組んで検討して頂いた意見を議会に報告しながら28年度予算に生かして参りたいと思います。

問（市民）

今までの意見は大変基本的な考え方でこれが進まない一人も人口が増えないと思いますが、私は、別な方面から、安達太良ドリームラインが完成し、大分経っておりますが、交通の便が良くなっただけで何の役にも立っていないと思います。実際には、道路が折角出来て、大いに活用して頂きたい。例えば、工場誘致や住宅団地造成をするのも良いし、何らかの事業を進めて頂きたいと思います。実際に各地域にいろいろな組織がありますが、実際に行政を動かすには大きな力がないと出来ませんので、また何らか動くべきなのかと考えていますが一つ行動を起こして頂きたいと思います。

答（根本七太議員）

ご意見がありました、定住人口増やすのにも働く職場が必要である。これまでドリームラインは平成7年にスタート（工事）し20年が経過し何一つ変わってないという意見を頂きました。定住人口増だけで進めてもどうにもならない、関連するものは沢山ある。子育て支援からいろいろある。参考までに地域懇談会の意見集のまとめがあります。時間を頂いて読まして頂きたい。

- ・子育ての環境は揃ってきたが、嫁が来ないという問題がある。メディアを活用したお見合い支援策を講じてはどうか
- ・現在、人口が増えている既存住宅地においても、このままでは将来ゴーストタウン化してしまう。他の住宅地で既にそういう状況が見られることから対策を講じる必要がある。
- ・定住促進の為に宅地造成にはスピードが求められる。
- ・定年退職者や若年層で古民家や古民家を利用して農業をやりたい人がいる NPO 法人ふるさと回帰支援センターに加盟してはどうか
- ・未婚率が高いことが問題でないか。
- ・子どもを施設だけでなく、大人が見てあげる場所を確保する事も必要ではないか。
- ・人口が増えず、商店街が寂しい、嫁も来ず、危機感を感じている。本宮でも婚活を行って欲しい。

このような地域の声もあがっておりました。参考になればと思います。特には大玉の問題もありますが、前任の浅和村長と話した機会がありました、大玉はもうこれから企業誘致しない、企業は本宮で誘致してくれ。その代わり人は提供する。という形で人口増対策をするのだと言っておりました。確かに大玉村大山小学校の赤坂周辺で住宅が盛んに建てられています。本宮の場合は、定住人口として郡山から本宮に来て働いている方に本宮に住んで頂き、定着して貰う。そのような考えで市執行部はやっているのかと思っております。皆さんから頂いたご意見をプラスしてやれば前に前進していくのではないかと思います。ここで頂いた意見は議会議員として執行部へお伝えする。インパクトはかなり大きいと思います。どうぞもつといろいろな意見を頂きたい。

## 問（市民）

昔から本宮からすれば川向側がなかなか発展しない。郡山もそうである。東側が発展しない。大玉は地形が平坦、道路も真っすぐ直線である。前にも言ったが、白沢地区は道路の高低差がありすぎる。これが一番ネックである。時間的にはあまりかからないのだが、道路を一本、高低差をなくし、きちんと歩道を整備し、道路はお金がかかるので言いたくないのだが、本宮市全体の発展を考えると東側の道路整備が良くなると流れてくるよりも流れていってしまうのが大きいかもしれませんが、道路を利用して活性化する対策の一つを考えて頂きたい。小浜街道、三春街道、雪道と思うとこちらには来たくないと思っています。平成大橋の道路にしても魔の冬道を考えると冬は通るなよと社員には言っている。一本高低差の無い道路を白沢に向かって造って頂ければ東側も発展するのかなと思います。結婚問題は重点ですが、それに伴ってこの問題も大切かと思っています。

## 答（根本七太議員）

そういった角度からでも取り組んでいくことが、全体的な課題を克服、出来るものと感じ



じています。

2番目のこれからの地域のあり方、活性化に移ります。

道路のあり方についても考えられるが、その他皆さんから自分たちの地域、現状見て頂き、こうすれば地域が変わるのではないか？活性化に繋がるのではないか？こういうことをやったらどうか等の意見を頂きたい。

問（市民）

水関係についてお聞きしたい。農業用水の事である。生活用水でもある。水利組合費がすごく高いという事で、前は6,700円が、500円下げ、6,200円となっており助かっている、他の町村に比べ倍とは言わないが、本宮の平坦部、安積疏水では4千円代ですので、ところが、6,200円、米が1俵で8千円になってしまい、8俵で6万4千円にしかない。その中で6,400円の水利費を払わないといけない。農業は、ほとんどの方が高齢者である。年金を貰い米代で何とか暮らしており非常に打撃を受けている。さらに用水路は年中生活排水路であり、浄化槽から出たものには、田にはビニールが流れ、買い物の袋が流れている。生活排水でもある。農家の水利費で何とかしよう形できている。最近困っているのは、耕作放棄地が増え、草刈りをしない為、水路が詰まってしまう。そうしますと阿武隈川から流れる水量があればいいのだが、詰まってしまう。さらにもう一つ問題なのは、昔からみんなで利用する道、市道、県道そして排水路、川の土手、これは全部農業者の協力により今までやってきた。最近では、農地・水の事業とかさらには多面的機能そういった集落が取り組めば助成金を出しますよという形でやっておりますが、それでは到底間に合わない。そういう事で市が関与する道、水路その他の部分の草刈代で水利費の補填をしていかないと土手の草を刈って稲をつくる状況が続く。あと5年もすると耕作放棄地がまだまだ増える。このような考えから水利費関係、水の流れ、これにもう少しお金を使って貰い、農家の負担を軽くし、地域全体で取り組むこと、既に生活排水が年中流れているので、そういう部分に力を入れ対策をとってもらいたい。

答（根本七太議員）

今の質問は、安達疏水土地改良区の件ととらえているが、市で安達疏水土地改良区に助成金を出しているので枠を広げて補充して頂けないか？白沢の農業、本宮の農業の為にと、そういう考えと捉えていいか。

問（市民）

さらに市道とか公共の道路の草刈り代にいくらかでも農家の方にもやって頂けないと、誰ももう草刈りをやらなくなりますよ。

答（根本七太議員）

分かりました。県道もそうですが、市道に関して市で少々の援助をしないと荒れてしまうという意見ですね。何か関連した質問ありますか。

問（市民）

草刈りの件ですね。年間クリーアップ作戦何回ありますか？何年も前から言っているが、真面目にやっているところとやらないところがある。道路側溝に草がかぶっていて、雨が降ると側溝に流れず道路にあふれている。市長と懇談をしたことがあるが、そういうみんなやると事に対してやらないところにペナルティを例えば行政区にも出すものを減らすとか、何でもやって貰う考えから、みんなで作りあげる市にしなければならない。やりましよう決められたものに対してはきちんとやる。終了したらそれらを確認する。そしてやっていないところにはペナルティを課す。何年も前からいっている。あと農業は高齢者ばかりで大変ということもあります。最終的にはシルバー人材センターが来てやってくれる。結局、それを観てれば誰もやらない。結局ズルイものが得をして、正直者が馬鹿を見る社会では駄目だ。正直者が喜んで暮らせる社会をつくらなければならない。善悪の判断を曖昧にしてきているから行政に負担がかかっているのではないかと思う。

答（根本七太議員）

その他同じ問題で何かありますか？なければ、では、二人の意見を市へ届けるという事で、次の問題に移りたいと思います。

問（市民）

本宮市には観光客が年間市長の話だと50万人が訪れ、そのうち20万人がアサヒビール園、市には祭り、神社仏閣いろいろなものがあるが、春になると桜の花が咲きます。白岩の塩ノ崎大桜が県指定になっており、来ておりますが、去年4月に二本松から東和に行くと、個人的な桜を見ると、お茶と言ってくる方がいる。いわゆる「おもてなし」というか、合併して9、10年になり、白沢は本宮の、本宮は白沢を知っているのか。それは活性化に繋がるし、どれだけ知っているか「ふるさと検定」をし、市民の方がどれくらい地元の話が分かるか本宮市の検定試験をやってみてはどうか。是非、お願いしたい。

答（根本七太議員）

今、塩ノ崎大桜のことでなく、全体的な観光地を多くの人に分かってもらう策を講じるべきではないのか？市民約3万人いるが、その中でどれだけ本宮市内の観光地が分かるか？というところでどういうふうな検定をするのか？

問（市民）

塩ノ崎大桜の場合、東京からバスで来る人とカメラを持ってきている人がいるが、話してみると岳温泉に泊まって滝桜、合戦場しだれ桜を見て案内をするが、その程度で終わってしまう。個人でやっている桜もある。なかなかそこまで手がまわらないのかと。観光ばかりでなく

本宮市になってどれだけ分かっているのかという事である。検定試験を宜しく願います。

答（根本七太議員）

案としてお聞きしましたが、検定試験をやるかやらないかは、中身については詳細に聞

かないと分からないのでお考えとして承る。一つの方法としてアンケート的に流してアンケート調査をすることも一つある。検定試験は手法を凝らさないといけないのでご意見として提案を頂いたという事で承る。

問（市民）

観光関係、本宮、白沢の観光はこれといったものがない。外貨を稼ぐためには、他所から来てお金を使ってもらう。アサヒビール園には相当の方が来て頂いているので岩角山とかそれなりの歴史で結構見ることが出来る場所があると思う。岩角山だったらボランティアで説明してくれる方が常時いるとか。そういう事も考えていかないと観光の部分で収入を得ることも一つの課題である。アサヒビール園ばかりではなくアサヒビール園を市内に観光して頂けるか？検討を頂きたい。

問（市民）

岩角山では観光協会では希望があれば案内をしています。

答（根本七太議員）

一つの点から線にしようと、何件か回れるようなコースに、そして成就すればそれこそ面でご案内が出来るのではないかというご意見と考える。岩角山観光地としては、岳温泉光雲閣とタイアップして途中までいろいろな仕掛けをしたが、計画が終わった経緯がある。そういうものがこれからは必要と考える。アサヒビール園だけではなく、20万30万人来るのであれば、その客に何かを見て頂いたり、本宮市の農産物買って頂いたり巡回する行程を踏ませるツアーをすることが地域の活性化に繋がるのかと思います。

問（市民）

観光だけではなく、旧白沢村時代から白沢地区にはグリーンパーク野球場とかサッカー場とか施設がある。旧白沢には、宿泊設備がない。折角来ても岳、磐梯熱海、三春町とか我々地元の親睦会、新年会でも毎年のように市内ではなくアットホームおおたま、三春の馬場の湯、岳温泉とか宿泊設備がない。だからといって宿泊施設を作るのではなく、2、3か月前の廃業した長屋のしらさわ温泉とか、改装した位で直せるのであれば16部屋あるのでどうか、我々も子ども時代には何度か利用させて頂いた経緯がある。だから団体が来た時に宿泊できる施設を市で運営するとか、我々が地元になくて周りの市町村にそこにお金を落として来るとい、古民家再生とか菅野健治議員は議会に取り上げているが、個人の古民家もいいし、廃業した温泉を復活させるとかを是非検討して頂きたい。

答（根本七太議員）

確かに今、古民家対策というか、特に若い人と親達が別居、住宅を別に住んでいて、親が亡くなるとその家が空き家になっているケースが多い、そういった実態を市で調査している。

空き家の活性化も大切と思う、例にしらさわ温泉を提案されたが、ご意見をお聞きしましたのでその旨をお伝えしたい。

問（市民）

ここで話された内容をどういうふうに活用していくのか。心配です。なぜならば、以前、パブリックコメントを2回出したことがあるが、どのように利用されたのかが分からない。議員が来られて意見交換会になっているが、取り上げられないとか、抹消されたりすることが心配です。そういう事はあまり考えたくはないが、だから他で出たような内容を他の地域でもやっているのです。そうするとまとめることが必要だと思います。議会との対話を重視した議会を活性化させる住民の中から10人位モニターを募る、それで議会の傍聴会に行つて貰う。議員と一緒に課題をまとめていく。そういうモニター制度みたいのが一つの活性化だと思う。活性化は議員との意見交換だから議員との間での活性化で、議員の活性を狙っただけなのかと思った、最初は。全体の事を考えれば、議員も含めた住民との全体の意見交換会だと思っている。もしそうならば、モニター制度の活用の仕方がある、こういう場所の意見を聞くのではなく、常にそういう住民との意見を聞くことができるのではないか？実施したらどうでしょうか。活性化を簡単にできる行動だと思う。是非、そういう方向で検討を頂きたい。

答（根本七太議員）

やはり個々の会議で意見がこれほど活性化したのに、ボソッと終わってしまったらという心配というご意見だと思います。実は会議が終わると、向かって右側の三瓶幹夫議員と菅野健治議員が記録を取っています。記録を取ったものを隈なくまとめます。纏まったものを本議会で報告すると同時に当然、議会で地域の声を我々は代弁していくので、簡単に報告しただけでは終わりません。やはり我々はそのあとどうなったのかまではきちんとしなくてはならないし、また、議会だよりでもこれからこういった結果についてはご報告をする機会を必ず出来ると思いますのでその辺にご期待して頂きたい。必ず今日意見が出たものが必ず全部出来るものは難しいものがある。しかし少なくとも皆さんのご意見が平成28年変わったな29年変わったなとそして、言って良かったなと効果のある形にしていきたいので、ご理解を賜りたい。

問（市民）

ふるさと納税についてお聞きします。ふるさと納税は、本宮市ではどの位集まっているのか。宣伝が足りないのではないかと思います。

答（根本七太議員）

ふるさと納税で私も議会で取り上げた。ふるさと納税に対しては、国が進める地方活性化の一環としてやられている。納税の10%範囲が20%に変わって来ています。2万円ならば4千円の範囲で他の市町村に納められる。26年度は650万円と思います。そして27年度は3千4百万円位です。だいぶ増えている感じがする。確かに金額はご理解頂けたかと思いますが、大玉は積極的に取り上げており、大変な納税額を頂いていると聞く。政府が進める事だからしっかり前向きに捉えて、住民の税金が入ってくるのは大変ありがたい事です。ふるさと納税の返礼品に関しては、稲沢地区で山芋を生産しています。

そして定年退職した5人の方が新たに挑戦し昨年から作り始め1万2千本を作っています。そういう人達が、一生懸命取り組みながら消化するところがなく困っていた。今度、お客様の要望に応えられれば農業も少なくとも活性化に繋がっていくのかと思います。

残り5分となりました。以上で意見交換会の進行を終わらせて頂きます。

発言（渡辺忠夫議員）

本日の意見を頂きましたが、議会は執行機関ではないので、いろいろと意見を頂きましたが、市長へ伝えるもの、議会としてどう対応するかを分けて今日参加した白沢地区のみならずと共有を含めて全体の会議でも議論すると思いますが、白沢地区の問題に関しては、話しながら対応の仕方もあるのではないかと思います。先だって、幼稚園バスの問題について白沢地区出身の議員が市長にお話をする機会なども設けましたのでそういう事も含めて皆さんの期待に応えられるよう頑張っていきたい。

【午後8時30分閉会】